

A 部門(小学1～3年生)

◆茨城県知事賞

松山 実玖(箱田小2年)



「みくとくせいクリスマスツリー」

◆笠間市長賞

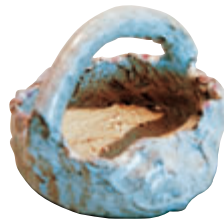
鶴田 美菜(北川根小3年)



「チョコキチョコキフォトスタンド」

◆笠間陶器協同組合理事長賞

土田 輝(北川根小2年)



「ぼくのだいすきなたからもの」

◆笠間日動美術館長賞

高木 仁(箱田小2年)



「ディアルガカップ」

第7回

全国子ども
陶芸展
inかさま

市内の特別賞受賞作品
《敬称略》

B 部門(小学4～6年生)

◆笠間市教育長賞

菅沼 峻(友部小6年)



「大きな茶わん」

◆笠間日動美術館長賞

高野 布由子(友部小6年)



「プタちゃんキンチョール」

◆NHK水戸放送局長賞

市之瀬 航太(友部小6年)

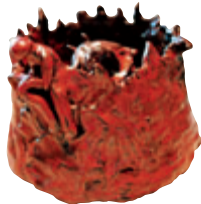


「コップ」

C 部門(中学生)

◆笠間市教育長賞

友常 果歩(稲田中1年)



「視 線」

◆笠間陶器協同組合理事長賞

柴田 美樹(友部二中1年)



「My CDたて」

◆笠間日動美術館長賞

山田 拓也(稲田中1年)



「桜の器」

◆NHK水戸放送局長賞

吉田 玲央(稲田中1年)



「デカコップ」

「ブラジル日本移民百周年記念」



稲田みかげ石で巨大モニュメントを制作中



来年ブラジルで行われる日本移民百周年祭。この催しに向けて、サンパウロ市カルモ公園にモニュメントを設置しようと、彫刻家の絹谷幸太さんが制作に取り組んでいます。作品は、ブラジルの赤い花崗岩の周囲に稲田産の花崗岩6つを並べ、六大陸を形成するもの。中野組石材工業(株)の協力の下、同社の奥山採石場で、巨大な原石を前に日々作業を続けています。絹谷さんは、実際にブラジルを見聞し、懸命に生きてきた日系移民への敬意、そして彼らを温かく迎え入れてくれたブラジル国民への謝意を込め、国が違って人間として、そして彫刻家である前に同じ日本人として、制作を決意したといいます。ブラジルでの完成は来年6月。笠間で生まれた巨大モニュメントが、12月に太平洋を渡ります。



採石場で作業を続ける絹谷さん(中央)とスタッフの村上さん(左)・内山さん(右)